

岡山県産業看護部会

健保連岡山産業保健師看護師連絡協議会合同研修会

岡山県産業看護部会・健保連岡山産業保健師看護師連絡協議会合同研修会(岡山産業保健総合支援センター共催)を平成30年4月7日(土)に「ちゅうぎん駅前ビル4階会議室」にて、福島県立医科大学医学部疫学講座 大平哲也教授をお迎えして、「働く人を生き生き元気に～笑いを保健指導へ活かす方法～」というテーマで、49名の参加者のもと開催しました。笑いの実践や笑う事の大切さを改めて実感できる充実した内容で、2時間後に盛会のうちに閉会となりました。



研修会前には軽食をいただきながら、岡山産業保健総合支援センター事業案内を私が、岡山労災病院における治療・就労両立支援事業についてを岡山労災病院星島保健師が情報提供を行いました。

なぜ、がん経験者の就労支援を 考えねばならないか？

1. 「がん＝死」ではない！
2. がんは「長く付き合う慢性病」に変化しつつある
3. 新規がん罹患者の1/3は生産年齢（15-64歳）である
4. 生活の質を確保しながら付き合っていくことが大切
5. ライフスタイルの中で就労は非常に大きな問題

(春羽和久、がん治療市民公開講座「就労支援 医療の立場から」より引用)

次回は平成30年10月に開催する予定です。皆様の参加をお待ちしております。また、岡山県産業看護部会へ入会されていない方で、入会希望される方は私宛に御連絡下さい。

(文責 事務主任:佐古)